

# BOOK TRAIN

ブックトレイン

千代田図書館  
学校支援担当発行  
夏の図書だより  
中学生版  
2014

中学生の皆さんにおすすめの本を紹介します。

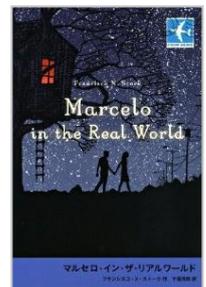


## 箱から出てきた1枚の写真…彼女の目はまっすぐぼくに問いかける

### 『マルセロ・イン・ザ・リアルワールド』

フランシスコ・X・ストーク / 作 きほしげき 千葉茂樹 / 訳 岩波書店

発達障害をもった17歳のマルセロは、父親に「この夏、仕事を手伝ってほしい」と言われ、父の法律事務所で働くことになった。ある日、ごみ箱に捨てられた封筒の中から、一枚の写真を発見する。その衝撃的な写真に突き動かされ、マルセロは事務所と父親の秘密に近づいていく…。初めて触れる「リアルな世界」での、マルセロの不安と成長を描く。

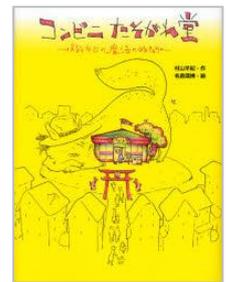


## 「いらっしゃい、あなたは何をお探しですか？」

### 『コンビニたそがれ堂 街かどの魔法の時間』

むらやまさき 村山卓紀 / 作 なくらやすひろ 名倉靖博 / 絵 ポプラ社

かざはや 風早という街にあるコンビニを舞台に、繰り広げられる5つの物語。コンビニの名前は「たそがれ堂」。夕暮れ時に赤い鳥居の近くに現れる不思議な店で、本当に大事な探し物がある人だけがたどり着ける。そしてそこで見つけた品々は、探していた人たちにとても大切なことを気づかせてくれるのだ。どんなものでもきっと手にはいる、魔法の店の話。続編で文庫版も出版。



## 「わたしたちは同じ、ひとつのいきもの」

### 『こおりのなみだ』

ジャッキー・モリス / さく こばやしあきこ 小林晶子 / やく 岩崎書店

ひょうげん 氷原に生きるシロクマの子をカラスがさらった。その子は狩人に拾われ、人として大切に育てられる。しかし7年後、せつげん 雪原で迷った末にシロクマに囲まれると、シロクマだった自分の記憶がよみがえったのだった。母グマに再会したその時、育ての親と生みの親のどちらと生きるか、選択を迫られる。美しく勢いのある絵が、大自然に生かされる命のとこと 尊さを描き上げる。





もし同じような状況になったら  
みなさんはどうしますか

『ヒトラー・ユーゲントの若者たち  
愛国心あいこくしんの名のもとに』

スーザン・キャンベル・パートレッティ／著 林田康一はやしだ こういち／訳  
あすなる書房



1930～40年代のドイツには、アドルフ・ヒトラー率いる政党ナチスと、それを支持する“ヒトラー・ユーゲント”という組織があった。組織を形成するのは軍人ではなく、十代の少年少女たち。彼らの多くは、自らの意志でユーゲントに入り、国のためにと戦争に関わっていく。彼らはなぜその道を選んだのだろうか？ 記録とインタビューをもとに書かれたノンフィクション。

一緒に立ち止まって考え、並んで歩く  
8つの小さな物語

『きみの町で』

重松清しげまつきよし／著 ミロコマチコ／絵 朝日出版社



「こども向けの哲学」として書かれた短編集。哲学なんて難しそう？ よい事わるい事ってなに？ 自分ってなに？ 電車で席を譲りたいのに譲れない時の気持ち、周りに合わせているうちに自分がわからなくなってしまったなど…。大人にだって簡単には答えを出せない問題について、物語を通してゆっくり考えよう。6年生の国語の教科書に掲載された『カレーライス』と同作者。

「おれは大人になりたいんだ。  
大人、大人、大人！」

『どろぼうの神さま』

コルネーリア・フンケ／著 細井直子ほそい なおこ／訳 WAVE 出版



ベネツィアの片隅で暮らす、5人の子供たち。彼らは各々に事情を抱えて、自分の力で生きていかなければならなかった。今、彼らの生活は、スキピオという少年が盗んでくる物で成り立っている。彼がどんな所へも、やすやすと忍び込んでしまう「どろぼうの神さま」だと信じていた5人。しかし本当のスキピオの姿は…。

“いいこと探し”の達人が残した  
心に寄り添う 70 編

『まど・みちお人生処方詩集』

まど・みちお／詩と絵 市河紀子いちかわのりこ／選詩 平凡社



今年の2月、104歳で亡くなられた、まど・みちおさんの詩集。まどさんの詩は、「今ここに在ることの不思議」を感じさせる。それと同時に、「自分の存在」がまるごと受け入れられたような、ほっとした気持ちにしてくれる。何かに迷ったときにこそ出会って欲しい、波立つ気持ちをそうっと静めてくれる一冊。